

会 議 録

(4-1)

会議の名称		第4回 春日部市自立支援協議会(第9期)			
開催日時		令和6年1月17日(水)	開 会	午前・ 午後 1時00分	
			閉 会	午前・ 午後 2時00分	
開催場所		春日部市役所2階 会議室201			
議長(会長等)氏名		会長 野村 善晶			
出席者	委員氏名	(出席人数:13人) 野村 善晶、永田 啓子、土橋 栄子、 飯澤 育世、須藤 美智子、多賀 久仁子、羽鳥 一子、松本 久男、 佐藤 敦子、篠江 正則、八木原 みき、下谷内 裕之、 畠 秀和			
		事務局	(出席人数:6人)		
			福祉部長	: 戸張 昌代	
			福祉次長	: 折原 武志	
	事務局	障がい者支援課長	: 内藤 道夫		
		障がい者支援担当主幹	: 榎本 雅明		
		障がい者支援担当主幹	: 相澤 寿昭		
事務局	障がい者支援担当主査	: 清水 亜由美			
	次第及び公開・一部公開・非公開の区分	1 開会			
		2 あいさつ			
3 議事録署名人の選任					
4 議事 (1) 市民意見提出手続きの結果について (2) その他					
5 閉会					
一部公開・非公開の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当:				
	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当:				
	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当:				
	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当:				
配布資料		1 次第 2 資料: 第7期 春日部市障害福祉計画(案)に対する 市民意見募集結果(公表案)			
会議録の作成方法		要点記録			
会議録署名の指定		羽鳥 一子			

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局 会 長 事務局	次第1：【開会】
	次第2：【会長あいさつ】
	【会議成立の報告：委員16人中13人出席】
	【議長の就任】
議 長	春日部市自立支援協議会要綱第5条2項の規定に基づき、野村会長が議長となる。
	【会議公開の宣言】
	【傍聴人の有無について確認_傍聴人：0人】
	次第3：【議事録署名人の選任：羽鳥 一子 委員】
	次第4：【議事】
	【議題（1）市民意見提出手続きの結果について】
事務局	【事務局に説明を求める】
	【資料：第7期春日部市障害福祉計画（案）に対する市民意見募集結果
	（公表案）に基づき説明】
議 長	【意見および質問等を求める】
松本 委員	意見の8について、説明がなかったように思うが、聞き違いか。
事務局	意見の7と8は、高次脳機能障害に関する具体的な記載を求める
	内容だったため、併せて説明した。
八木原 委員	意見の6にあった「重層的支援体制整備事業」について、時期的に
	いつ頃になるのか。
事務局	重層的支援体制整備事業の実施については、本計画と同時期に策定
	している地域福祉計画に記載されるが、開始時期についてはまだ
	定まっていない。具体的に決まってくれば、広報などの様々な媒体を
	使って、皆様に周知していくものと思われる。
	【他に意見及び質問等はなく、公表案からの修正はなしとして承認。
	次の議題に進む】
事務局	【議題（2）その他について】
	【・第7期春日部市障害福祉計画書の印刷について、
	・第3回障害者計画等審議会では表紙用絵画を選定したことを報告】
議 長	相談件数および困難ケースの増加、医療的ケア児に関することや
	市内の事業所数の急増といった状況の変化もあり、現状にあった
	ものにするため、運営委員会では各部会の再編にむけて動いている。
	緊急に対応しなければいけないものもあり、全体会での承認を得て
	から時間がかかってしまうため、毎月行われている運営委員会の方で
	進めていきたいと思っている。皆様ご了承のほどよろしくお願い
	します。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	【委員、承認】
事務局	第7期春日部市障害福祉計画について自立支援協議会からの意見を
	伺う場としては、本日が最終日となる。貴重な意見をいただき、
	ありがとうございました。完成した計画書は、次回の全体会で配布する。
土橋 委員	年明けに能登で大きな地震があった。障がいをお持ちの方から、
	避難するとき、皆さんと一緒のところしかないのか。
	障がいのある方用の避難所があったら知りたいと質問を受けた。
事務局	災害があった場合は、地域防災計画に基づいて対応する。
	質問のあった障がいのある方の避難所については、福祉避難所
	というものを、民間の事業所に連絡して開設していただく。
	本市の計画では、まず一次避難所に避難していただき、障がいの
	ある方や身動きのできない高齢の方がいた場合に、障害者施設や
	高齢者入所施設といった、二次避難所に移動していただく、という
	予定になっている。
篠江 委員	くらし防災部会の会長と話した際に、この地域で一番対策が必要な
	水害について、マイタイムラインの作成などしていきたいが実施
	できていないということがあった。
	くらし防災部会の再編についても運営委員会で上がっているので、
	そこで出た話も全体会で共有していきたい。
多賀 委員	福祉避難所について、情報は行き渡っているのか。
	聞こえない人は放送が聞こえず、状況が変わった時にどこに避難したら
	いいのか、福祉避難所の情報が入らず分からないということがある。
	埼玉県聴覚障がい者の団体では防災フォーラムという研修会で、
	どこに避難すればいいのか情報提供をしている。
	住所の近く、または障がいのある団体や民生委員も交えての相談が
	必要ではないかという意見が出ているが、春日部市ではどうなっ
	ているのか。
	福祉避難所について、情報提供がされていないため、聴覚障がい者
	はどうしたらいいのか分かっていないと思う。
事務局	福祉避難所は、障害者事業所から非公開ということで協力して
	いただいている。規模の大きい高齢者施設は受入れの余力があるため
	公表されているが、福祉避難所として協力いただいている障害者
	事業所は規模が小さく、一斉に来られてもお断りすることになって
	しまう。そのため、現時点では福祉避難所として公開していない。
	その代わりに、一次避難所での人数や障害の状況等を把握して、

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局 多賀 委員	<p>そこから二次避難所に案内するという形で考えられている。</p> <p>地震が起こった時、自分の身を守るために近い避難所に行くこと、福祉避難所について、公開できないことは分かった。</p> <p>理想としては、自分の近いところに避難をし、余裕ができてきたころに手話通訳を派遣するという考えができると思う。</p> <p>聞こえない人たちに理解できるような情報提供の必要について、話し合いをしていただきたい。</p> <p>能登半島の地震で、情報が入らないことの不便さを聞いた。</p> <p>聴覚障がい者への対応の仕方は今後の課題だと思う。</p> <p>春日部市でも、情報保障について課題として考えていただきたい。</p>
事務局	<p>聴覚障がい者への情報発信については、今後検討していかなければならない。国からも、個人の状況に応じた個別避難計画の作成について整備していくように話が出ている。</p> <p>また、災害時の手話通訳については、登録手話通訳者数の数も限りがあるので、耳の聞こえない方があちこちにいると対応できなくなってしまう。</p> <p>そのため、どこに避難するのかについても今後、障がいのある皆様のご意見を、防災の担当課と一緒に伺うこともあるかと思うので、その際にご協力のほどよろしくお願いします。</p>
多賀 委員 事務局 議 長 副会長 事務局	<p>避難所では、情報は見てわかるように掲示をしてほしい。</p> <p>防災の担当課に伝えます。</p> <p>【他に意見などはなく閉会とする】</p> <p>【閉会のあいさつ】</p> <p>【閉会】</p>
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
<p>令和6年1月31日</p> <p>署名者の職・氏名</p> <p style="text-align: center;">自立支援協議会委員 羽鳥 一子</p>	